

授業科目 精神障害作業療法評価学

【担当教員名】 桐本 光	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

【概要・一般目標：G10】
精神障害、心理及び社会的要因に問題点を有する対象者に作業療法介入を行うに際し、必要な評価の視点・知識・態度・技術を理解する。

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. 精神医学で学んだ精神疾患の特徴と治療について説明できる。
 2. 国内外における精神科医療と保健福祉施策の歴史と現状について説明できる。
 3. 精神障害作業療法における評価の意義と構造を理解する。
 4. 面接、観察、検査による評価方法を理解し、実施することができる。
 5. 評価結果に基づき、問題点を焦点化する方法を理解する。
 6. リハビリテーション目標の設定とプログラム立案までの過程を理解する。
 7. 仮想症例に対して適切なリハビリテーション目標設定とプログラム立案を実施することができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	精神障害の分類と各疾患の特徴 1 (統合失調症、気分障害、不安障害)	1	講義
2	精神障害の分類と各疾患の特徴 2 (物質関連障害、解離性障害、摂食障害)	1	講義
3	精神障害の分類と各疾患の特徴 3 (人格障害、幼少青年期の障害、てんかん)	1	講義
4	国内外における精神科医療と保健福祉施策の歴史	2	講義
5	国内外における精神科医療と保健福祉施策の現状	2	講義
6	精神障害作業療法における評価の意義と構造	3	講義
7,8	面接による評価	4	講義, 演習
9,10	観察による評価	4	講義, 演習
10,11	検査による評価	4	講義, 演習
12	評価結果に基づく問題点の焦点化	5	講義
13,14	リハビリテーション目標の設定とプログラム立案	6	講義, 演習
15	まとめ	7	講義, 演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席、授業態度、レポート、定期試験等から総合的に判断する。	【履修上の留意点】 講義開始前に改めて教科書を指定する。
---	---------------------------------